

問題の趣旨

数学に関する学習内容のうち、これからの学習や生活をする上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力について調べる問題です。正負の数や文字式・方程式の計算、図形、関数、資料を整理する方法、確率などが出題されています。

全体の正答率

* 平均正答率とは、ひとりひとりの児童生徒の正答率(全設問のうち何%の設問に正答したか)を平均したものです。

平均正答率は全国と比較して
1.9%上回っています

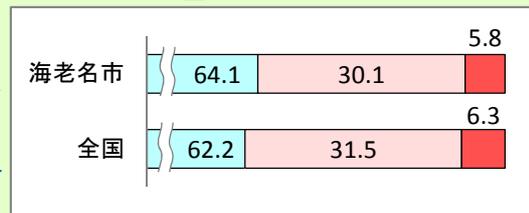
《平均正答率(%)》

	海老名市	神奈川県	全国	全国との比較
数学A	64.1	61.9	62.2	+1.9

誤答の様子は…

《誤答の内訳(%)》

□ 正答 □ 誤答(書いたが不正解だった)
■ 無解答(何も書かなかった)



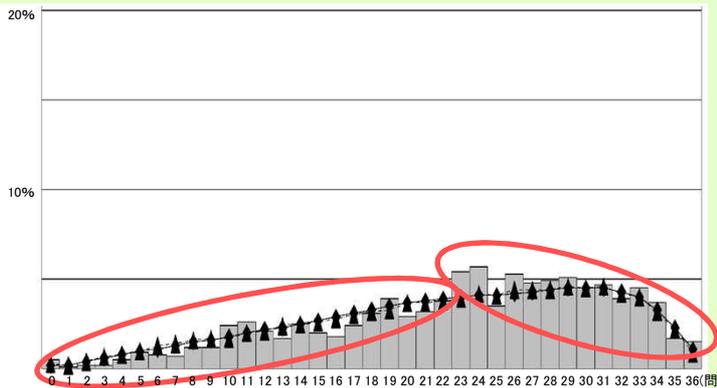
無解答率(何も書かなかった)は5.8%でした。



分布の様子は…

《正答数による分布》

■ 海老名市 ▲ 神奈川県 ◆ 全国



全国と比較すると
正答数が23問以上の生徒が多く
22問以下の生徒が少ない
ことが傾向としてわかります

* 正答率50%以下(0~18問)の生徒の割合は
26.9%でした。(全国は31.5%)

* 正答率80%以上(29~36問)の生徒の割合は
29.6%でした。(全国は28.4%)

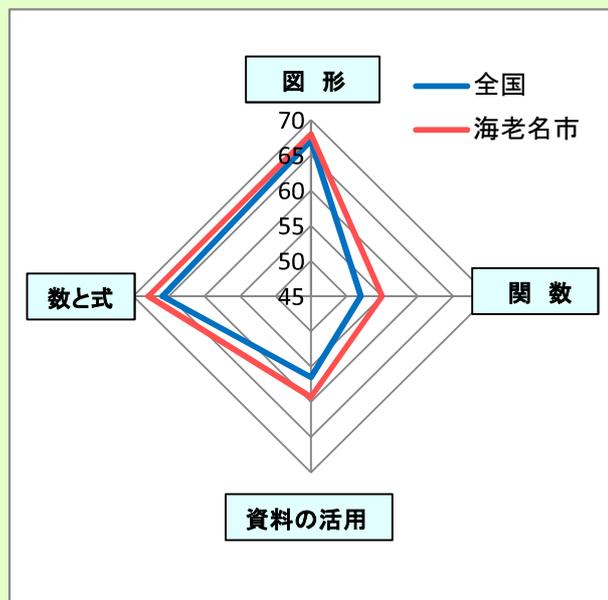
領域別の正答率

全領域において全国と比較して
やや上回っています

	海老名市	全国	全国との比較
数と式	67.9	65.9	+2.0
図形	68.0	67.1	+0.9
関数	55.0	52.0	+3.0
資料の活用	59.3	56.5	+2.8

* 「図形」以外の領域において、2.0%以上、上回っていました。

* 「関数」「資料の活用」については、約3.0%上回っていました。



内容について

* ()内は、平均正答率の全国との比較

全国を上回った
設問

- 自然数を選ぶ。(+10.8)
- 一次関数のグラフを見て、 x の変域から y の変域を求める。(+9.2)
- 硬貨を投げるときの表と裏の出る確率について正しいものを選ぶ。(+9.2)

全国を下回った
設問

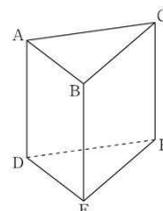
- 三角柱の中のねじれの位置にある辺を選ぶ。(-8.5)
- 縦と横の長さが5:8の看板をつくるときの比例式を作る。(-5.0)
- 反比例のグラフから式を求める。(-2.8)

数学Aで平均正答率が全国を下回った設問の例

「ねじれの位置」にある辺を選ぶ設問 (全国との比較-8.5%)

右の図の三角柱には、辺ADとねじれの位置にある辺がいくつかあります。そのうちの1つを書きなさい。

正答例 辺BC



比例式をつくる設問 (全国との比較-5.0%)

縦と横の長さの比が5:8の長方形の看板をつくります。看板の縦の長さが45cmのときの横の長さを決めるために、横の長さを x cmとして比例式をつくりなさい。ただし、つくった比例式を解く必要はありません。

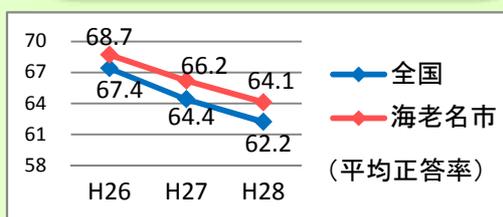
正答 $5:8=45:x$

☆数学Aのすべての設問は、国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。

考 察

- ◆ 全国と比べて、正答数が23問以上の生徒が多く、22問以下の生徒が少ない傾向があり、全領域において平均正答率が全国を上回っていることから、基礎的な力は身につけている。
- ◆ 「関数」の領域については全国に比べて平均正答率が特に高く、グラフの読み取りや変化の割合を求める力がよく身につけている。
- ◆ 全領域にわたって、1年次の学習内容の定着に課題が見られることから、既習事項を生かしながら問題を解決する指導の工夫が求められる。

これまでとの比較



◆ 3年間とも全国を上回っていて、差が徐々に大きくなっている。

◆ 平成26年度から3年間、全領域において全国を上回っている。

指導の改善にむけて

- ◆ 「学習内容をさらに確実に身につける」ために
 - 小学校や中学校1年次の既習事項を生かしながら指導する。
 - ひとりひとりの力の定着について確実に把握し、支援の方法を工夫する。
 - 授業中の発問を工夫することで、様々な角度から問題を考えることができるように指導する。